

株主・投資家への責任

適正な利益還元と情報開示

株主利益の拡大を図るべく、業績の向上、財務体質の安定化に努めます。

株主還元に関する基本方針

カシオは、株主の皆様の利益を維持・拡大することを重要な経営課題と位置づけ、業績の向上と財務体質の強化に努めています。配当については、安定配当の維持を基本に、利益水準、財務状況、配当性向などを総合的に勘案して成果配分を進め、株主の皆様への貢献を強化しています。また、内部留保については、企業の安定成長に必要な研究開発や投資に充当することにより、さらなる業績の向上と経営体質の強化を図ります。

2005年度の財務・配当状況

2005年度は、時計、デジタルカメラ、電子辞書、携帯電話、TFT液晶といった戦略事業を強力に推進・展開すると同時に、利益率の改善、資本効率の向上など経営の効率化に注力した結果、売上高5,803億円・当期純利益237億円と、共に3期連続で過去最高を更新しました。配当金については、業績などを勘案し、前期実績の1株につき17円から3円増配の1株につき20円とさせていただきます。これは3期連続の増配となります。

SRIファンド・インデックスへの組み入れ状況

SRI (Socially Responsible Investment=社会的責任投資)とは、従来の財務分析による投資基準に加え、法令遵守や雇用・人権問題、社会貢献、環境保全などのCSRの側面から企業を評価・選別しようとする投資手法です。近年、SRIファンドの設定が増えており、カシオも以下のファンドやインデックスに組み入れられています。

SRIファンド・インデックスの組み入れ状況 (2006年6月1日現在)

SRIインデックス構成銘柄組み入れ

- モーニングスターSRIインデックス (2006年5月1日付け)

SRIファンド組み入れ

- 住信アセットマネジメント (株) 住信SRI・ジャパン・オープン「グッドカンパニー」
- 三井住友アセットマネジメント (株) エコ・バランス「海と空」

株主・投資家に対するコミュニケーション

「カシオ倫理行動規範」に掲げる企業情報の適時適切な開示の方針に基づき、積極的なIR活動を行っています。

● IRイベントの開催

四半期ごとの決算発表後、決算説明会も同日中に開催しています。機関投資家や証券アナリストの方々に向け、社長もしくはIR担当取締役がメインスピーカーとなって、決算実績概要や将来の見通しについて説明しています。その他にも、国内外の機関投資家や証券アナリストとの個別ミーティング、工場見学会、特定事業のスマール・ミーティングなどを随時行っています。



決算説明会

● IRツールの充実

決算発表関連資料、アニュアル・レポート、事業報告書を作成しており、それらは全て当社ホームページにて公開しています。



アニュアル・レポート



事業報告書

IR Webサイト <http://www.casio.co.jp/ir/>

● 個人投資家への対応

ホームページを通じた情報開示の充実を図るとともに、株主総会の充実は勿論、総会後に経営説明会を開催するなど、個人投資家の方々に向けた情報開示も積極的に行っています。



Webサイト「投資家の皆様へ」

● IR室でのお問い合わせ対応

カシオのIR活動の中心となるIR室では、総務部との連携のもと、国内外を問わず多くの株主・投資家の皆様からいただくさまざまなお問い合わせにも対応しています。